おせん

馬鹿野郎！
そんなとこ
ウロウロ
している
からよ

大丈夫？
けがは
………
足が
………

気をつけろ
しようが
ねえな
ブッ
ブッ
ピシッ
この女
何を
しや
がる
ただじゃ
おかね
えぞ
グイ
若
どうし
た？
あんたが
責任者なの
あんたとこの
人つたら
人様に怪我を
させておき
ながら詫び
の一つも言
わないで

いや……
それが

ボカーと
してないで
早く医者に
見せなきゃあ
気がきかな
いわねえ

留
お前は
仕事に
かかれ
俺が医者
に連れて
ゆく

悪いけど
ここで
失礼する
わ
エッ

お前さん
名は？
住居？
名前？
そんなもの
ないわ
じゃあ
おだい
じに

おーい

留さんとかいう
人にちょっと
言いすぎたわ
あやまっ
といてね

なんだ？この食いかた
安か
さしみ

すじか多いんたまずくて食えねえ

母さんよーおれの下駄どこだ
裏から入ったん

魚又か
パチ

とってきてくれよ
しょうがない子だね…自分で取ってくりゃいいのに…
この寒いのにどこへ行くのさ……
〇焼
九里四里
まいどあり……
五つもらおうか

はい
ちょいと
待って
下さい
すく焼け
ますから

ねえさん
あっしを
おぼえて
いないかい
はあ
？

ほら二月ほど
前に本郷で
大工の…………
…………

あら
そうで
したか

チェ
どうも
お待ち
どおさま

にぶい
女だ
大きい
の四つ
ですか
二つくだ
さいな
九里四里

ガタガタ
ガタガタ
いろはに
姉ちゃん
ムニャムニャ
太一ったら

この子
寝てまで
しゃべっ
てるわ

まだ
寝ない
のかい
アラ
うん
ねむくな
つて来たわ

ガラ

おはよう
さむいわよ

おあよー
いつも
はやえ
ねえー
床

豆腐屋

おは
よう
ござい
まーす

ザ
おはようさん あー寝すぎたな
あら おはよう
一ちょう おつゆに切って
はい おつゆですね
ゴホ！ゴホ！
姉ちゃん めしまだかあ
顔洗ったの…… 寒いからってだめよ
お前の好きなアゲ またもらってきたからね
よ、よ

おつかれー

ああころんだのか

泣くんじゃねえよ

泣くな

ワ～
わ、わかったよ

とは言ったもののいま持ち合わせがねえんだよ
よわったな

○焼
九里四里

昨日はどうも
あら

あんたあの時の大工さんね
ふた月ほど前に……

あのおばさん元気になった？

あらこんな大きな坊やがいたの
エッ!

いや
ちがう
実は…

こんどは
落とさない
ようにな

ありがとう
ございます

今
おじさんが
神経痛で
動けない
から…

よ、よー

あーあー助かった！
何持ってんの？

金魚さそこで買ってきたんだ
上げるよ

太一がよろこぶわ

……………

何をパクパクやってんだい？
金魚と話をしてるのよフフフフ

ザー
ザー
だいぶ降ってきたな
雨花の園だわ

叔父さんの
家って
大きいの
ねえ
きれいな
花瓶!
高いんだぞ
五両も出して
手に
入れ
たん
だからな

五両！

はじめまして……
らくにらくにしておくれ

お前さんかいおせんさんというのは……
安からいつも聞かされてますよ　そんなにいい人なら一度会って冥土のみやげにと思ってな

だから年寄はいやだというんだよ

ご隠居さま
お客さまが
お見えに
なりました
うん
今すぐ
行く……

ちょっと
失礼する
よ

パクッ

このやろう

ごめん
ごめん

ホホホ・・・
ああおかしかった
ホホホ
ハッハハハハ
……
ト
ドン
グラ
あっ！

ガチャーン!

あーつ!!

わたしじゃない
わたしがこわしたんじゃない

あんたが私をつきとばしたからよっ
あんたがあんたがやったんだ
エッ!

私は何もしなかった！
ククー……
タッタッ
な、なんという女だ
なぜ追わぬ
……

花瓶などどうでもよい
女というものは不思議なものでのう

あんな女!

あの娘はいい娘じゃ愛情のある娘じゃ

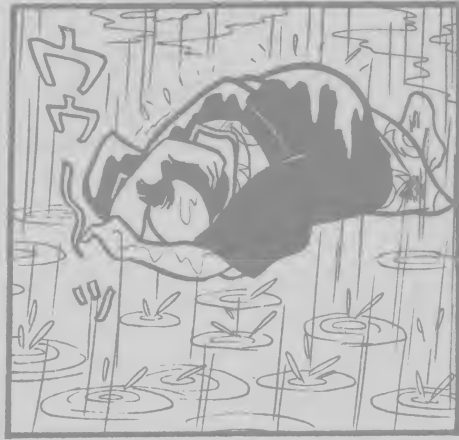
愛情!これが愛情だというのか

よしてくれー

ヨヨヨ。

ウイー

………

フフフ
雨花の園
ウウ
ッ
わしは
こう思うのじゃよ
おせん
さんには
貧乏が
骨の
髄まで
しみこんで
いるの
じゃ
花瓶を
こわした時
反射的に弁償のことを
考えたんじゃろ
ところが
自分には
貧しい今の生活が
精一杯……
細々ながらも
弟やばあさんを
養っている
今の生活のことで
頭の中が一杯
だったんじゃよ

お前のように何不自由なく育った者には理解できぬことかも知れんがのう……

いや ちがう！あの女はああいうきたねえ女なんだ！

貧乏がなんでいー
ウィ〜
ザー
ザー